

外郭団体特別委員会審査から②

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が8月5日と11日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の松本のり子議員、林まさひと議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

8月5日 都市局

神戸新交通株式会社

社員の生活脅かす大規模投資優先の姿勢正せ

——— 松本のり子議員

神戸新交通株式会社は、ポートライナーと六甲ライナーの運営と不動産賃貸を兼業しています。神戸新交通株式会社は、コロナの影響で乗客が減り大幅な減収となった対策として、社員の給与の引き下げをはじめとする人件費の見直しを

決定しました。一方で、大規模投資は圧縮するとしながら、混雑緩和を理由に三宮駅ホームの拡張工事をすすめようとしています。松本議員は、コロナで暮らしが大変な市民・社員の生活を脅かす給与削減はやめるよう厳しく追及しました。

答弁ダイジェスト.....

松本議員：社員の給与は引き下げながら、大金を使ってホームの拡張をすすめなど理解できない。混雑時の大半は市民病院の職員の皆さんだから病院と交渉して時間をずらすなど工夫をして対応す

べきだ。

代表取締役常務：病院にはフレックスタイム制をお願いしている。

松本議員：朝の30分の混雑のためにホームを拡張しなくても十分対応ができるのではないかと。兼業の賃貸事業もフロアが空いたまま対策もとらず、また空港までのライナーを延伸したことで借金が膨れ上がっている。無駄なことをして赤字だからと、社員の生活を脅かすことはやめるべきだ。

西区役所新庁舎建設

株式会社OMこうべ

施主として区民の安全・安心を第一に

——— 林まさひと議員

株式会社OMこうべは、須磨パティオやプレンティをはじめとするショッピングセンターの運営や海上アクセス事業、西区新庁舎整備事業などをおこなっています。林議員は、西区新庁舎建設について、夜間や休日にも全長80mにもおよぶクレーン車が折りたたまれず伸びたままになっており、周辺住民から不安の声があがっていることを指摘し、市民が安心できるように施主として丁寧な対応を求め

ました。

答弁ダイジェスト.....

常務取締役：厚労省の安全規約とメーカーのマニュアルにのっとっている。

林議員：新西図書館を建設している施主業者はしっかり折りたたんでいる。関電高浜原発事故のようにならないか住民から不安の声があがっているが、周辺住民に説明ができていないのではないのか。

常務取締役：要望のあったマンションにはビラと掲示でお知らせをした。

林議員：どこにあるのかわからないような掲示では、とても丁寧な対応とはいえない。区民のための施設の建設だから、区民が安心できるように丁寧な説明と



対応をすべきだ。

代表取締役社長：求められることがあれば、しっかり説明に尽くしたいと思っている。

Zoom
にて

市政報告会を開催します

ご参加はこちらから↓

日時 9月10日(金)18時30分から

ミーティングID 837 4164 8619

パスコード 681957



久元市政の2期8年は、新自由主義—規制緩和万能、弱肉強食、自己責任押し付けの冷たい市政でした。こうした歪んだ市政運営によって、医療体制や保健所体制はじめとした公的なセーフティネットを弱体化させ、コロナ・パンデミックから市民の命と暮らしを守る役割を果たせない神戸市にしてしまったこ

とが明らかになりました。

市会報告会では、森本真団長が久元市政の歪みの根本にメスを入れ、現市政のどこを変えれば、市民の命と暮らしを守るあたたかい神戸を実現できるか転換の道筋を報告します。

中突堤中央ビル

株式会社ウォーターフロント開発機構

神戸らしい 歴史残した施設に

林まさひと議員

株式会社ウォーターフロント開発機構は、「港都 神戸」グランドデザインの策定に基づいて、都心・ウォーターフロントの将来構想を踏まえながら企業と協働で再開発をすすめるとして、2021年5月に設立されました。新港第2突堤にはホテルや文化施設を含む総合集客施設を建設、突堤基部には文化・創造複合エリアとしてポートミュージアム（水族館などの複合施設）やオフィスなどの建設を計画しています。現在、ポートタワーに隣接する中突堤中央ビルは南館北館ともに老朽化が激しく、建て替えて民営化する

予定ですが、北館は区分所有建物となっています。林議員は、区分所有者に強硬な姿勢をとらず神戸らしいレトロな雰囲気を残したものにすべきと求めました。

答弁ダイジェスト

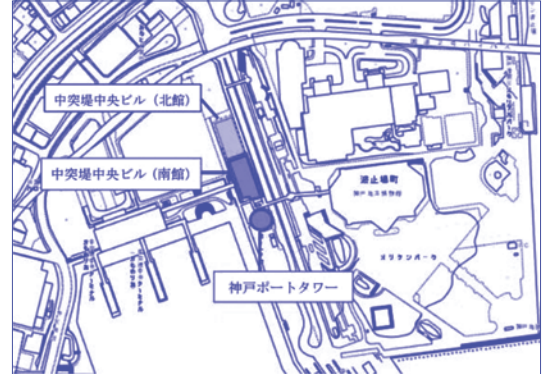
常務取締役：中突堤周辺地区に関するサウンディング調査を実施し、民間事業者からは南館単体では事業性に乏しく南北一体開発をすれば事業性は高まるとの意見があった。区分所有者と今後のあり方等について意見を交換する予定だ。

林議員：区分所有者の方からは「長年商売しながら神戸の港の発展にかかわってきた」「今まで売ってほしいと言われても断ってきた」という話を聞いた。きちんと区分所有者の方々と話をし、港の発展の起点として神戸らしい昭和レトロな雰囲気を残すべきではないか。

加島担当局長：ここは臨港地区で今後

住居を含む建築ができないので、今そのまま改修するのは現実的には難しい。区分所有者の皆さんと意見交換しながらすすめていきたい。

林議員：今後くれぐれも区分所有者の方々に無理押しせず、神戸の歴史を残したものにしていきたい。



その他の質問

- 他都市と類似したものではなく150年の神戸港の歴史残した再開発を

—— 松本のり子議員

神戸港・大阪港

阪神国際港湾株式会社

ムダな巨額投資やめ 相互に協力し合える運営を

松本のり子議員

阪神国際港湾株式会社は、2014年に大阪港と神戸港が経営統合し「阪神国際港湾株式会社」になりました。しかし、その後分離と統合を繰り返して今に至っています。これまで神戸港と大阪港では船舶の大型化にともない、多くの箇所で大水深バース（大型コンテナ船が接岸可能な水深15メートル以上あるコンテナ埠頭のこと）の整備をおこなってきましたが、さらに高規格ガントリークレーン（大型で荷役効率が高いクレーン）もその全てに整備しようとしています。この整備にはクレーン1基に約10億円もかかります。松本議員は「国際港湾株式会社

の中で大阪港と神戸港とを上手に活用できれば、両港の全てに整備する必要はないのではないか。高齢化で人口が減少している中で過剰な投資はやめて、発展しているアジア航路について神戸港と大阪港が一緒に取り組んでいくべき」と質しました。

答弁ダイジェスト

常務執行役員：阪神港・神戸港・大阪港のスケールメリットをどう生かすかが国の大きな課題となった。大阪港は輸入、神戸港は輸出という位置づけで考えており、今後もこの二つの港を運営していく中で阪神港全体の競争力を高めていきたい。

松本議員：一つの会社なのに役割を分けて別々に運営しているようだ。今後基幹航路を含めてアジア貨物について、一緒に検討すべきだ。

常務執行役員：会社経営そのものを一



体化するメリットは十分感じている。今後も会社が一つになって取り組んでいきたいと思っている。

その他の質問

神戸航空貨物ターミナル株式会社

- 物流事業者への施設賃貸について

—— 松本のり子議員

神戸市のホームページからご覧いただけます

森本真議員・今井まさこ議員が代表質疑

日時 9月7日(火)10時頃から 場所 市議会本会議場

時間が多少ずれこむ場合がありますので、余裕をもってご覧ください

視聴は
こちらから



選挙管理委員会が、
神戸市長選挙の
執行について
発表しました

2021年11月19日任期満了による神戸市長選挙をおこないます

選挙期日の告示日 10月10日(日) 選挙期日 10月24日(日)